

全国のミスキャンパスらが方言で地元の魅力を発信する「第1回都道府県対抗学生観光PRアワード」の予選で、金大が8位に入賞し、23日に千葉市で行われる決勝戦への進出を決めた。代表を務めるのは医薬保健学域のミスに選ばれたスタッフ・アンジェリーナ・由紀子さん(20)。「薬学類3年」。インターネットの交流サイトで兼六園や和倉温泉を紹介し「見に来まっし」と呼び掛けている。

兼六園 綺麗ねんよ



内灘の日米ハーフ
ミスのスタッフさん

スタッフさんは、米国人の父と日本人の母を持つハーフ。家族との会話は主に英語だが、幼いころから内灘町で育ち、友人との会話で使う金沢弁は気楽で親しみやすく、愛着があるという。

交流サイト「グーグル+」に地域情報を投稿して順位を決める予選で、スタッフさんは金沢弁を駆使し、兼六園を「めっちゃ綺麗ねんよ」、和倉温泉を「お風呂だけじゃなくて、周辺でスイーツめぐりとかできるげんよ」などとアピールした。スタッフさんは、北海道大や東北学院大、関西大、熊本県立大など全国

ふるさと自慢 金大生決勝へ

都道府県対抗学生アワード

10大学が出場する決勝戦に参加し、金沢弁で石川の観光の魅力を発表する。今後は観光アワード親善大使としても活動する予定で、「観光スポットだけでなく、石川人の優しさも伝えたい」と意気込んでいる。

都道府県対抗学生観光PRアワードは、全国のミスキャンパスコンテスト関係者でつくる実行委が主催する。

方言で呼び掛け



和倉温泉を探訪するスタッフ・アンジェリーナ・由紀子さん(右手前)